【web 用】

学校通信
赤見だより
あかるく　かしこく　みんななかよし　　2024 年8月19日　第 5 号

事故、熱中症、自然災害などから命を守る

パリオリンピックでの熱戦に沸いた今年の夏。その「熱さ」を上回る「暑さ」となった夏休みも、残り2週間ほどとなりました。7月下旬から毎日のように熱中症警戒アラートが発表され、愛知県での猛暑日も連続記録を更新しています。そんな暑さが続く中、各地の河川や海では、小中学生が亡くなる痛ましい水難事故が今年も発生しております。

本校では、起こりうる水の事故に対応するために、泳力向上をめざして水泳の授業を行うとともに、服を着た状態で水の抵抗などを感じる体験として、着衣泳の指導を夏休み前に行いました。本年度も「水の事故0」の赤見小学校でありたいと思っています。地域、ご家庭におかれましても水難事故に関して、今一度注意喚起をお願い致します。また、交通安全対策も含め、お子さんが安全に留意した行動がとれるように家庭での確認もお願いします。

着衣泳指導（水難事故防止）

7月の「赤見だより」でもお伝えしましたが、猛暑が続く状況では熱中症を予防することも大切です。学校では、2学期も引き続き、教室の室温管理や水分補給を実施しながら、児童の熱中症を予防しつつ学習活動を進めていきます。この夏休み中、熱中症予防のためにお子さんやご家族の体調管理に気を遣っていることと思いますが、引き続きよろしくお願いします。

暑さ対策（熱中症予防）

最後に、自然災害への備えについての確認です。8月8日～15日にかけて、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されて「日ごろからの地震への備え」を確認することが呼びかけられました。また、この夏は台風が多く発生し、すでに上陸した台風では東北地方や関東地方で大きな影響が出ました。いつ起こるかわからない自然災害に対しては、日ごろからできる限りの準備をしておくことが大切です。

避難訓練（地震対策）

以上のことは、どれも命を守るために大切な事柄です。2学期からの登校に向けて、気持ちの落ち込みなどがないかにも気を付けてお子さんの様子を見守っていただきながら、残りの夏休みを安全・健康に過ごしていただきたいと思います。

水難事故を防止するために

- 立ち入り禁止区域には入らない。危険な場所には近づかない。
- 海や川が荒れている、荒れると予想されている場合は遊泳中止。
- 単独での行動はしない。子供から目を離さない。
- ライフジャケットはなるべく常時着用する。　　など

※赤見小ウェブサイトで学校の教育活動を紹介しています。

（文責：脇田琢己）

熱中症に気をつけながら過ごすために

〇学校のある日には、十分な水分量が入った水筒を持たせてください。
〇首元を冷やすネックリングやクールスカーフなどを使用してもよいです。
〇登下校時に日傘（傘）を使用してもよいです。安全に気を付けて使います。
〇暑い日の外での活動時は、マスクを外すように声かけをしています。

地震への備えに気をつけながら過ごすために（一宮市ウェブサイトを参考）

〇家具・本棚などが固定されている。
〇家族が別々の場所で地震にあった場合の連絡方法を決めている。
〇停電しても、懐中電灯などで1週間くらい明かりを維持できる。
〇非常持ち出し袋が用意してある。
〇ライフライン（電気・ガス・水道）が止まっても、保存食材で家族が3日間以上食べられる。
〇避難場所や避難経路について理解している。　など

交通事故を防止、被害を軽減するために

〇交通ルールを守り、道路への飛び出しは絶対にしない。
〇自転車に乗るときはヘルメットを着用する。
〇自動車も自転車も、歩行者の安全に気をつける。
〇横断歩道を利用する。横断中も左右の安全を確認する。
〇信号のある交差点では、信号に従って通行する。渡る前に左右を確認。（止まる・見る・聞く・待つ）

赤見小学校のウェブサイトをご覧ください

赤見小学校では学校ウェブサイトにて、日ごろの学校の様子や教育活動に関する情報を数多く掲載し、多くの方に赤見小の取組を知っていただけるようにしています。ご家庭のパソコン、スマートフォンなどからご覧いただけますので、ぜひチェックしてみてください。右の QR コードをスマートフォン等で読み取ると学校 web サイトをご覧いただけます。

あかみ

※赤見小ウェブサイトで学校の教育活動を紹介しています。

（文責：脇田琢己）